

『不動産ファンドフォーラム2025イン仙台』
～仙台オフィス市場と国内不動産投資市場がテーマ～

アセットブレインズ仙台ネットワーク

不動産ファンドフォーラムを開催

11月21日(金) 仙台市本町 仙台商工会議所

本紙など後援

仙台オフィス市場と国内不動産投資市場がテーマ

国内の不動産市場は、先行きの不透明感と金利の上昇および建設コストの高騰が相まって買主の購入意欲に慎重さが見られ、成約まで時間がかかる案件が増えているという。一方、仙台圏のオフィス市場では、立地改善や設備のグレードアップを図るオフィス需要が旺盛で、空室率は低下し成約賃料は堅調に推移している。

このような状況の中、資産活用をサポートするコンサルティング活動をを行っているアセットブレインズ仙台ネットワーク(事務局・仙台市泉区上谷刈1の7の35 佐々木正之事務局長)は、11月21日(金)の13時30分から17時まで、仙台市青葉区本町の仙台商工会議

所でオープンセミナーとして「不動産ファンドフォーラム2025イン仙台」地方都市における地方創生セミナーを開催(参加費無料)し、仙台を含む国内主要都市のオフィスマーケットと、国内の不動産投資市場について専門家が講演を行う。建設新聞社や一般社団法人・不動産証券化協会、一般財団法人・日本不動産研究所、仙台商工会議所不動産部などが後援する。会場参加の定員は100人(応募者多数の場合は抽選)とし、動画視聴希望者(100人予定)には後日、パスワードを発行し動画配信する予定。2部構成のセミナーに先立ち、アセットブレインズの佐々木事務局長が、『仙台・東北

圏の最新事業用・投資用不動産事情2025・秋」として、ことし1年間の仙台圏の事業用不動産市場の動きを総括する。

第1部では「仙台オフィス市場」の現況と見通しとして、ニッセイ基礎研究所金融研究部不動産投資チームの吉田資上席研究員が仙台圏のオフィス市場に着目し、現状把握と今後の新規需要の分析を行うとともに、札幌、仙台、広島、福岡の国内地方4大都市を比較検討した所見を解説する。

第2部では、「日本の不動産投資市場の現状と今後の動向について」として、公立大学法人宮城大学名誉教授で不動産証券化協会フェローの田邊信之氏がインフレ環境下における不動産投資市場の現状と今後の不動産投資ビジネスの視点をテーマに、これからの市場動向の道筋を示す。

セミナーへの参加希望者は、会場参加か動画視聴を選択した上、申込書に必要事項を記入し、ファスクかメールにて申し込む。申込書は同ネットワークのHP (<http://www.asset-b.net/>) からダウンロードできる。

①ファクス 022-374-4569 ②Eメール asset-b@ac.aunone-net.jp。問い合わせは、アセットブレインズ仙台ネットワーク事務局 ☎022-773-6685まで。